



職場で生かす、闘いの武器と しょう ≡ 連続学習会 成功裡に終了 ≡

日刊 勤労千葉

85. 7. 11

No. 1986

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七

% 乗務員分科が4回学習会を開催

高橋分科執行委員を講師に、「勤乗協定の賃金体系」を講義



乗務員分科会は、次代を担う青年層を主体とした学習会を開催しているが、第四回目は前回にひきつづいて「勤乗協定について」をテーマに、七月十日、十時より、三八名の各支部会員の出席のもとに開催された。



高橋講師が「賃金体系」について解説

まず午前中は、「動力車乗務員の賃金体系」について、乗務員分科・高橋執行委員を講師に迎えて始まり、「新協定は『内達一号』による換算性が廃止されたことが大きな特徴点である」と話し、乗務員に最も関係のある賃金の協定について順次解説が行われた。

特に、「祝日及び公休日労働についての手当及び問題点」「乗務員手当・旅費」等について詳しい解説が行われた。

午後は、安田事務長を講師に、勤乗制度全般にわたり、われわれが最も身近に関係することについて説明がなされた。その中で、「出入区と入換の関係」「出勤予備」「年末年始の休暇の取扱

い」等について多くの質問が出され、それらについて両講師より詳細にわたり解り易い回答が行われた。

四回の学習会を成功裡に終了

乗務員分科会主催の青年層を主体とした学習会は初の試みであったが、第一回から四回まで全部出席した会員も多く、S氏は「非常によい学習会だった。勤乗協定はむずかしいがもっと勉強して次のダイ改には役立たせたい」と話していた。最後に安田事務長は、「この学習会で得たものを現場で生かしてもらいたい。また、今後の厳しい攻撃に対して闘いの糧とし、武器にしてほしい」と語り、十五時四五分に成功裡に学習会は終了した。

〔分科通信員・発〕

館山、銚子、勝浦、新小岩支部 の4チームが準決勝戦へ進出

サークル協
通信員発

二回戦の成績

館山	1	0	3	0	0	1
木更津	0	0	0	1	0	1
佐倉	2	0	0	0	0	0
新小岩	0	0	0	0	0	2
	2	2	2	2	0	0
	3	2	3	2	0	0
	5	4	5	4	0	0

★決勝

○14時開始 目途

★表彰式・閉会式

いよいよ...
準決・決勝戦!
七月十七日(水) 更科球場

(7回戦終了時同点のため
エキサイティングルール適用)

★準決勝

第一試合

○銚子対館山 10時

第二試合

○新小岩対勝浦 12時

